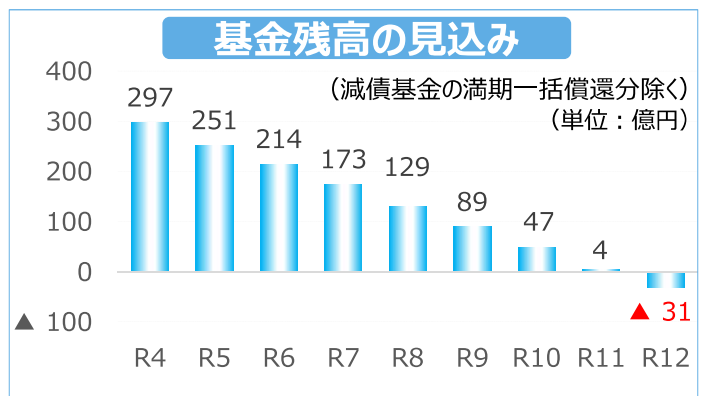
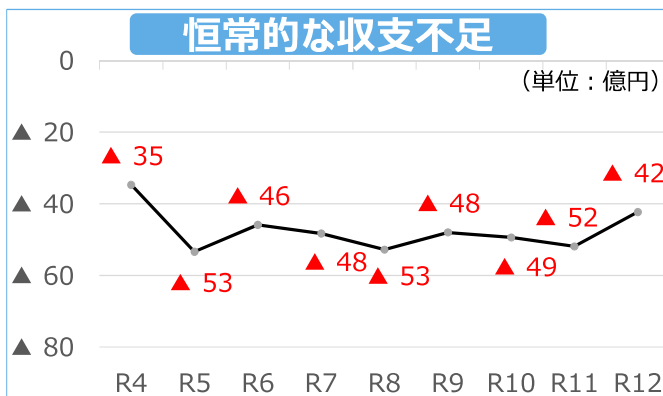


## ○今後の財政運営

### 堺市財政危機宣言（令和3年2月）



### 財政収支見通し（令和3年2月公表）

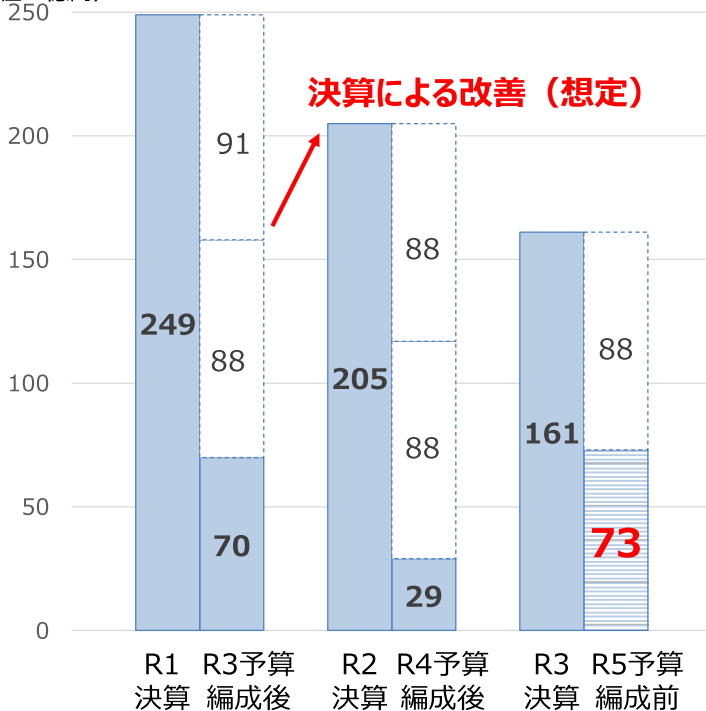


**危機的な財政状況**

- ・毎年度30～50億円の収支不足が続く見込み
- ・基金は令和12年度に底をつく見込み

## ○ 財源調整に活用できる基金残高見込み（令和3年2月時点）

（単位：億円）



R2 予算編成で91億円  
R3 予算編成で88億円  
R4、R5 予算編成で各88億円の  
基金が必要と仮定

R5 予算編成で財源調整として  
使用できる基金は73億円  
（見直しを行わない場合）

### R5 予算編成が困難

## 財政危機からの脱却に向けた取組

## 令和3・4年度を集中改革期間と位置付け改革を推進

### 令和12年度において約46億円の収支改善を見込む

- ・令和3年10月時点：収支改善効果額 約33億円
- ・令和5年1月時点：収支改善効果額 約13億円の追加

1 公共投資の選択と集中  
（11.9億円）

2 公共施設のマネジメント  
（2.7億円）

3 外郭団体の見直し  
（0.8億円）

4 市独自施策等の見直し  
（6.9億円）

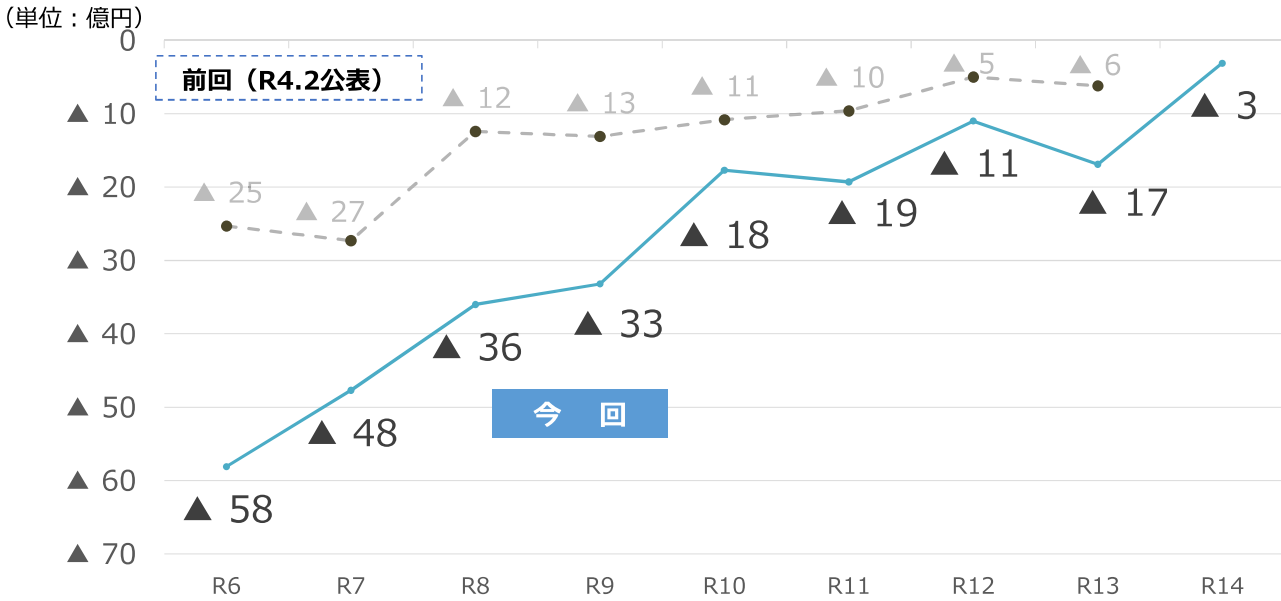
5 収入の確保  
（12.8億円）

6 人件費等の抑制  
（10.8億円）

# 財政収支見通し（令和5年1月公表）



## 【収支不足の見通し】



- ・財政危機脱却に向けた取組による効果や市税等の増加はあるものの、エネルギー価格高騰などにより、推計期間中、収支不足が続く見込み。
- ・第2子保育料無償化の実施の判断前では、令和14年度で黒字となる見込み。

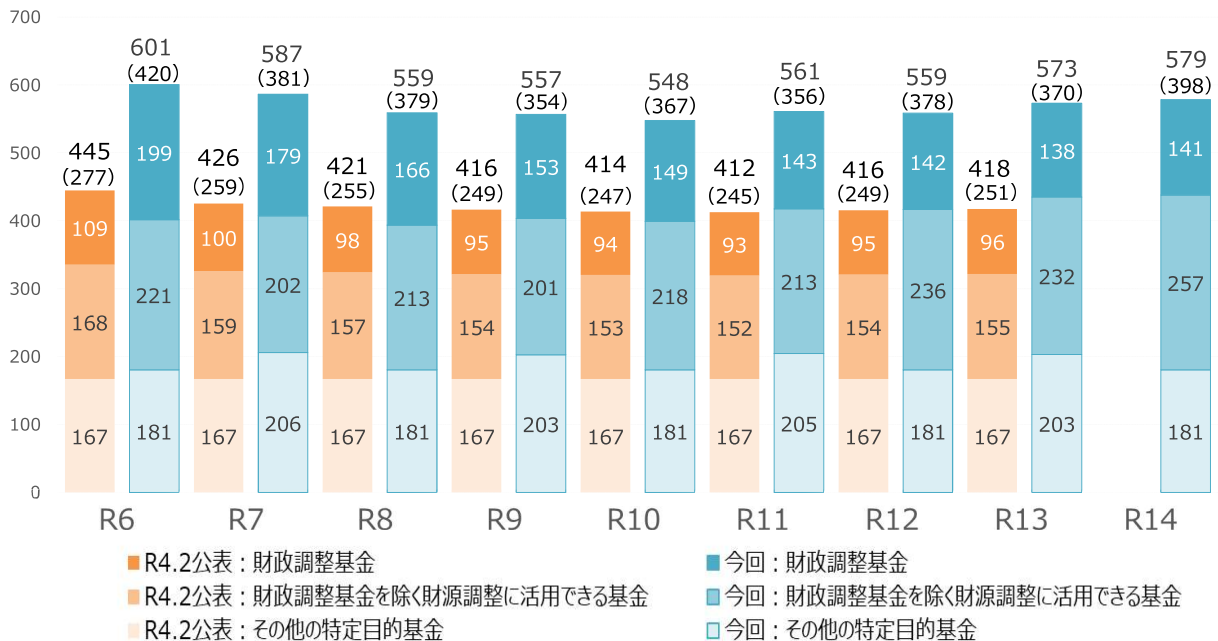
# 財政収支見通し（令和5年1月公表）



## 【基金残高の見通し】（減債基金の満期一括償還分除く）

(単位：億円)

※ ( ) : 財源調整に活用できる基金の合計



- ・財源調整に活用できる基金の合計は、350億円以上。
- ・そのうち、財政調整基金は、130億円以上を維持する見込み。

「持続可能な財政運営に向けた取組」を  
着実に進めることが前提ではあるが  
基金が枯渇し予算編成が困難となる状況は回避

**堺市財政危機宣言を解除**

持続可能な財政運営を保ち、  
将来にも夢と希望が持てる堺へ

1月31日市長定例記者会見

○令和5年度組織改正